

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	後期高齢者医療健康診査事業		
部局名	市民部	課(室)名	国民健康保険課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	04 衛生費
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	01 保健衛生費
期間	平成20年度～永年	目	02 予防費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	035 後期高齢者医療健康診査事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第125条		

【現状と課題】

現状と課題	高齢化に伴い、医療費は増加し続けている。
-------	----------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
後期高齢者医療被保険者	加古川総合保健センター及び加古川医師会の協力医療機関で、健康診査を実施する。				高齢者の健康を保持し、医療費抑制を図る。	
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
後期高齢者医療被保険者数		人		26,511	27,241	
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
健康診査受診者数		人		1,603	1,812	
活動指標分析結果	被保険者は年々増加していくが、長期入院者、施設入所者、生活習慣病で治療中の者等は健診対象外となっているため、今後はおおむね横ばい程度の受診者となると見込まれる。					
事業費		千円		10,816	11,522	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
健康診査受診者数		人				2,264 平成26年度
上段:計画値/下段:実績値				1,603	1,812	
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	被保険者は年々増加していくが、長期入院者、施設入所者、生活習慣病で治療中の者等は健診対象外となっているため、今後はおおむね横ばい程度の受診者となると見込まれる。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
増加し続ける医療費の抑制のため、健康診査を実施し、疾病の早期発見、早期治療に繋げることが大切である。そのために必要な事業である。	

※事業費と財源内訳

決算額	11,522	内訳	国費	県費	市債	他	11,522	一般
-----	--------	----	----	----	----	---	--------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	後期高齢者医療人間ドック助成事業		
部局名	市民部	課(室)名	国民健康保険課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	04 衛生費
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	01 保健衛生費
期間	平成23年度～永年	目	02 予防費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	050 後期高齢者医療人間ドック助成事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第125条		

【現状と課題】

現状と課題	受診者数が伸び悩んでいたが、平成25年度は、住民への周知方法の見直しにより受診者数が増加した。また、平成26年度より実施医療機関、コースを拡大する予定である。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
後期高齢者医療被保険者	加古川総合保健センターで2時間人間ドックを実施し、受診者に「ドック費用-自己負担額5,000円」を助成する。				高齢者の健康を保持し、医療費抑制を図る。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
後期高齢者医療被保険者数	人		26,511	27,241		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
人間ドック受診者数	人		3	71	150	平成30年度
活動指標分析結果	広報活動、メニュー内容を拡充させることにより、受診者数は増加すると見込まれる。					
事業費	千円		59	2,156		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
人間ドック受診者数	人		3	71	150	平成30年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	広報活動、メニュー内容を拡充させることにより、受診者数は増加すると見込まれる。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
増加し続ける医療費の抑制のため、健康診断を実施し、疾病の早期発見、早期治療に繋げることが大切である。そのために必要な事業である。	

※事業費と財源内訳

決算額	2,156	内訳	国費	県費	市債	他	1,339	一般	817
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	スポーツ交流館管理運営事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	02 総務費
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	01 総務管理費
期間	平成13年度～ 永年	目	27 ウェルネス費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	035 ウェルネス施設管理運営事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川スポーツ交流館の設置及び管理に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	指定管理者制度へ移行し、現在、民間事業者による管理運営が行われているが、住民の健康志向の高まりを受けて、施設の利用は順調に推移している。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
市民及び勤労者	施設の整備と適正な管理運営を行う。健康増進施設の利用を通じて積極的な健康づくりを支援する。	健康づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。				
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費		千円		66,548	66,048	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	66,048	内訳	国費	県費	市債	他	326	一般	65,722
-----	--------	----	----	----	----	---	-----	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	(公財) 加古川市ウェルネス協会補助事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	02 総務費
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	01 総務管理費
期間	平成19年度～永年	目	27 ウェルネス費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	020 (公財) 加古川市ウェルネス協会補助事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市補助金等交付規則、公益財団法人加古川市ウェルネス協会補助金交付要綱		

【現状と課題】

現状と課題	「市民の総合的な健康づくり」、「スポーツ」、「文化」及び「コミュニティ」に関する事業を実施し、市民誰もが心豊かで健やかに暮らせるまちづくりを推進している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
公益財団法人加古川市ウェルネス協会	公益財団法人加古川市ウェルネス協会が実施するスポーツ・文化・コミュニティの公益的な事業に対し補助を行う。	市民の総合的な健康の維持及び増進並びにスポーツ・文化・コミュニティの振興を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
公益財団法人加古川市ウェルネス協会	法人			1		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
補助金支出額	円		107,722,361	103,478,000		

活動指標分析結果	野口野球場の閉鎖により補助金支出額の累計は減額したが、全国市町村交流レガッタ大会選手派遣事業及びまちづくりセンター運営事業の増額、町内会掲示板設置補助金交付事業の新設など、その他の補助金額の増額が見られる。					
事業費	千円		107,722	103,478		

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川駅南まちづくりセンター利用者数	人				96,000	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値					95,826	
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	野口野球場の閉鎖に伴う事業収益の減少が見込まれる。
----------	---------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	評価	内容
1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	評価	内容
6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	評価	内容
9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
多くの市民が事業に参加しており、市民のスポーツ・文化・コミュニティの振興を図る事業として存在意義は大きい。

※事業費と財源内訳

決算額	103,478	内訳	国費	県費	市債	他	49,000	一般	54,478
-----	---------	----	----	----	----	---	--------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	保健衛生事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02健康づくりや地域医療を充実する	款	04衛生費
施策	01健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	01保健衛生費
期間	～ 永年	目	01衛生総務費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	025保健衛生事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	献血事業における啓発用品の予算措置はなくなったものの、支援体制を継続している。また、加古川市看護専門学校は、平成20年に閉校し、加古川医師会による加古川准看護高等専修学校としての4年を経て、平成24年3月に完全閉校し、現在、バリケードによる防犯対策を行っている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
血液等を必要とする国民、旧加古川市看護専門学校	保健衛生事業全般に関する調査・研究や、献血事業にかかる担当者会議への出席、旧加古川市看護専門学校への防犯対策の修繕等を行う。	保健衛生に関する事業や施設の充実を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円	904	946	368		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	保健衛生事業のうち、献血事業については、命を守る事業であることから、今後も全面的に支援していくべきであり、また、旧加古川市看護専門学校の防犯対策についても、今後の方針が明確化するまで、厳重な管理体制を維持していく必要がある。保健衛生事業全般の充実を図るうえで、調査・研究等の視察も実施していくべきであるとする。
--	---

※事業費と財源内訳

決算額	368	内訳	国費	県費	市債	他	一般	368
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	健康診査事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	04 衛生費
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	01 保健衛生費
期間	昭和58年度～ 永年	目	02 予防費
事業区分	④義務的施策事業	細目	015 保健推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法		

【現状と課題】

現状と課題	平成21年度より女性特有のがん(子宮がん・乳がん)検診推進事業を開始し、平成23年度には大腸がんを含めたがん検診推進事業として実施している。また平成23年度より肝炎ウイルス検診個別勧奨事業、平成24年度より歯周疾患検診個人負担金無料化を実施し、受診率が向上している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)					
18歳以上の市民	がん検診等を実施し、ちらしの配布や広報等による周知を図るとともに、特定年齢の者に検診無料クーポン券を送付することで受診を促進する。	より多くの市民ががん検診等を受診することで、疾病の予防および早期発見、早期治療の推進を図る。					
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外							
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外							
事業費		千円	157,200	160,303	164,645		
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外							

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
法に基づく義務的的事业であり、対象者への個別通知及び検診費用自己負担の無料化により事業成果である検診受診率は向上する。しかし、H26年度以降、がん検診推進事業等に対する国庫補助縮小に伴い、自己負担が生じた場合は受診率低下が懸念される。新たに胃がんリスク検診(ABC分類)を実施することで、受診数増が見込まれる。歯周疾患検診の個人負担金は播磨歯科医師会が負担しているが、その期間は不明であり、播磨歯科医師会との調整が必要である。	

※事業費と財源内訳

決算額	164,645	内訳	国費	19,472	県費	11,386	市債		他		一般	133,787
-----	---------	----	----	--------	----	--------	----	--	---	--	----	---------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	保健指導事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	0 1 安心して暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 健康づくりや地域医療を充実する	款	0 4 衛生費
施策	0 1 健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	0 1 保健衛生費
期間	昭和58年度～永年	目	0 2 予防費
事業区分	④義務的施策事業	細目	0 1 5 保健推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	健康増進法		

【現状と課題】

現状と課題	健康増進法に基づく健康教育・健康相談の対象者は40～64歳であるが、高齢者のニーズが高く実績としては65歳以上が5割以上を占めている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
40歳以上の市民	健康手帳の交付、健康教育、健康相談、訪問指導及び地区組織活動事業を実施する。	市民の健康の保持・増進を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		2,853	2,694		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	健康増進法に規定された義務的的事业であり、健康増進計画及食育推進計画に基づき市民の主体的な健康づくりや体系的な食育の推進を図る必要がある。
--	---

※事業費と財源内訳

決算額	2,694	内訳	国費	県費	1,177	市債	他	一般	1,517
-----	-------	----	----	----	-------	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	予防接種事業（健康課）		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	0 1 安心して暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 健康づくりや地域医療を充実する	款	0 4 衛生費
施策	0 1 健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	0 1 保健衛生費
期間	～ 永年	目	0 2 予防費
事業区分	④義務的施策事業	細目	0 1 1 予防接種事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	予防接種法		

【現状と課題】

現状と課題	高齢化社会の到来により対象者が急増しており、事業の必要性がさらに高まってきている。平成25年度においては、風しん予防接種助成事業を単年度事業として行っている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）
3市2町（加古川市、稲美町、播磨町、高砂市又は明石市）の住民で、高齢者インフルエンザは、満65歳以上の又は満60歳以上65歳未満の人で、心臓、じん臓若しくは呼吸器等に重い病気のある人。風しんは、妊娠を希望若しくは予定している人又は妊婦の同居家族。	加古川医師会、高砂市医師会及び明石市医師会等に対し、3市2町の協力医療機関による個別接種を委託している。	高齢者のインフルエンザの罹患及び重症化を防止する。また、胎児に起こる先天性風しん症候群を防止する。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外				

活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						

事業費	千円	平成23年度	平成24年度	平成25年度
			91,535	100,595

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	有効性	効率性	評価	備考
1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。			評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。			評価	
3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。			評価	
4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。			評価	
5 事業に対するニーズを把握していますか。			評価	
6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。			評価	
7 類似事業との統廃合ができますか。			評価	
8 市民との協働を取り入れていますか。			評価	
9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。			評価	
10 受益者負担の割合は妥当ですか。			評価	

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
高齢者のインフルエンザについては、重症化しやすく、また、場合によっては死に至る場合もあるため、現行どおり本事業を継続し、高齢者の経済的負担の軽減と、更なる接種率の向上を図るべきであると考えます。

※事業費と財源内訳

決算額	100,595	内訳	国費	県費	1,993	市債	他	一般	98,602
-----	---------	----	----	----	-------	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	兵庫県健康大学加古川講座負担事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	04 衛生費
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	01 保健衛生費
期間	昭和50年度～ 永年	目	01 衛生総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	025 保健衛生事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	行政の一部負担額を変更することなく、事業開始当初からこれまで、同様の支援を継続している。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
健康に関する講座を希望する加古川市、稲美町及び播磨町の住民。	兵庫県医師会が加古川医師会に委託している、健康に関する講座開設事業に対し、負担金を支出する。	健康づくりに関する知識を医師等の専門家から提供することで、より健康に対する意識の向上を図り、自主的な健康づくりを促す。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
健康に関する講座を希望する加古川市、稲美町及び	人		108	97		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
健康大学開講回数	回		17	17		

活動指標分析結果	概ね2ヶ月間での実施のため、上限に近い開催回数であると思われる。		
事業費	千円	240	240

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
健康大学平均参加数	人			110	110	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			95	82		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	平均参加数が減少傾向にあるため、参加者向上に向けた取り組みを検討する必要がある。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 兵庫県が実施主体である事業ではあるものの、行政が支援していくに足りる事業目的であるため、継続して支援を行っていくべきであるとする。

※事業費と財源内訳

決算額	240	内訳	国費	県費	市債	他	一般	240
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	加古川総合保健センター管理負担事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	04 衛生費
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	01 保健衛生費
期間	昭和60年度～永年	目	01 衛生総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	025 保健衛生事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	年間使用率に若干の余裕があるものの、定期的に使用しており、事業を実施するうえで、必要不可欠な状況にある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
加古川総合保健センター内の保健室で実施する健診や相談、ふれあい教室等に参加する住民。	加古川市が独占的に利用している、加古川総合保健センター内の保健室にかかる管理費用等に対し、負担金を支出する。	大人数の収容が可能であり、器具等の設備が充実している同一会場を確保することで、利用者の利便性を考慮しながら、計画的な健診等を実施する。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川総合保健センター管理経費	千円		44,064	43,132		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川総合保健センター保健室管理負担費	千円		4,998	4,879		

活動指標分析結果	施設・設備管理費の節減等により、減少傾向にある。					
事業費	千円		4,998	4,879		

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川総合保健センター保健室使用回数	回			149	150	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			144	137		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	60%程度の年間使用率(休日等を除く)であり、更なる有効活用の余地がある。
----------	---------------------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握していない
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
保健予防活動の充実を図るうえで、大人数の収容が可能であり、器具等の設備が充実している会場を確保することは必要であり、管理費用等を負担することは妥当であるため、継続して実施していく方が望ましいと考える。ただし、駅北健康増進施設の完成により、今後の経費については大きく変動することが予想される。

※事業費と財源内訳

決算額	4,879	内訳	国費	県費	市債	他	一般	4,879
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	地域保健医療情報システム事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02健康づくりや地域医療を充実する	款	04衛生費
施策	01健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	01保健衛生費
期間	平成1年度～永年	目	01衛生総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	030地域保健医療情報システム事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	当初は健康管理のみを中心に運用を開始したが、機能を充実させてきた結果、現在、成人保健システムや感染症情報提供システム、介護保険の認定審査で利用する主治医意見書システム等、複合的な機能を備えたシステムとなっている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
地域保健医療情報システムに蓄積された健康及び医療データの閲覧等に同意した加古川市、稲美町及び播磨町の住民。	同意書・カインドカードの配布回収業務や、新規参画医療機関の確保、各種システムの改良・保守業務等に加え、健診データも活用する必要性があることから、加古川総合保健センターに委託し実施している。	地域住民が安心して健康で豊かな生活を送ることができるよう健康管理を支援し、医療や保健分野等と連携のとれた基盤整備を行う。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
地域保健医療情報システム登録者数	人		159,782	165,674		
加古川地域医療機関	件		194	195		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
地域保健医療情報システムのデータ閲覧に同意した	人		62,428	63,314		
地域保健医療情報システムに参画している加古川地	件		127	128		

活動指標分析結果	同意率が40%程度に留まっており、更なる向上を図る必要がある。			
事業費	千円	79,489	79,530	79,530

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
地域保健医療情報システム同意率	%		39	38	45	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
地域保健医療情報システム参画医療機関率	%		65	66	75	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	参画医療機関率は66%となっているが、泌尿器科や肛門科など、診療科目によっては利用しにくい状況があるのも否定できない。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握していない
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	一部適正でなく、早急に見直す必要がある

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
地域住民の健康管理を支援するだけでなく、行政が業務を行う上で必須としている機能もあることから、機能の必要性を精査しながら、今後も継続して事業を行っていく方が望ましいと考える。	

※事業費と財源内訳

決算額	79,530	内訳	国費	県費	市債	他	一般	79,530
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	口から始まる健康づくり推進事業補助事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	04 衛生費
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	01 保健衛生費
期間	平成19年度～永年	目	01 衛生総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	040 口から始まる健康づくり推進事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	口腔に関する診療等を行い、口や歯の健康と健全な健康づくりの充実を図るため、事業に要する費用の2分の1に対し、予算の範囲内で支援している。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
播磨歯科医師会が実施する歯科衛生診療等に参加する住民。	播磨歯科医師会が実施する口から始まる健康づくり推進事業に要する費用の2分の1に対し、予算の範囲内で補助金を支出する。				口腔に関する診療等を行い、口や歯の健康を守り、全身状態を良好に保つことと、健全な健康づくりの充実を図る。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
口から始まる健康づくり推進事業費	千円		11,499	10,295		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
口から始まる健康づくり推進事業補助費	千円		5,000	5,000		
活動指標分析結果	予算の範囲内による補助のため、同水準となっている。					
事業費	千円		5,000	5,000		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
地域歯科保健分野活動回数	回		55	70	70	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値				52		
学校歯科保健分野活動回数	回		17	20	20	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			16			
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	年間を通じて、週1回以上の割合で活動を行っている。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握していない
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
口腔分野については、歯科医師による専門的知識や技術が必要となることが多いため、継続して事業を実施していくべきであると考えられる。

※事業費と財源内訳

決算額	5,000	内訳	国費	県費	市債	他	1,200	一般	3,800
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	市民ヘルスケア補助事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	04 衛生費
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	01 保健衛生費
期間	平成19年度～ 永年	目	01 衛生総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	025 保健衛生事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	住民の主体的な健康づくりや疾病の早期発見・早期治療の意識を促すため、健康や医療に関する幅広いテーマでの講演・講習等を行っており、事業に要する費用の2分の1に対し、予算の範囲内で支援している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川医師会が実施する各種健康に関する講演会等に参加する住民。	加古川医師会が実施する市民ヘルスケア支援事業に要する費用の2分の1に対し、予算の範囲内で補助金を支出する。	健康や医療に関する幅広いテーマでの講演・講習等を行うことで、住民の主体的な健康づくりや疾病の早期発見・早期治療の意識を促す。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
市民ヘルスケア支援事業費	千円		18,008	19,162		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
市民ヘルスケア支援事業補助費	千円		9,000	9,000		
活動指標分析結果	予算の範囲内による補助のため、同水準となっている。					
事業費	千円		9,000	9,000		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
健康分野活動回数	回		47	50	50	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値				56		
医療分野活動回数	回		27	40	40	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値				30		
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	年間を通じて、週に1回以上の割合で活動を行っている。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握していない
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
健康や医療に関連する分野は幅広く、また、医師等の専門家による支援の方が望ましい活動も多くあることから、継続して事業を実施していくべきであると考えます。

※事業費と財源内訳

決算額	9,000	内訳	国費	県費	市債	他	2,200	一般	6,800
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	自殺予防事業		
部局名	福祉部	課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する	款	03 民生費
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	01 社会福祉費
期間	平成22年度～ 永年	目	01 社会福祉総務費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	065 自殺予防事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	自殺対策基本法、自殺総合対策大綱、兵庫県自殺対策推進方策		

【現状と課題】

現状と課題	全国の自殺による死亡者数は、平成23年まで3万人を超えていたが、平成24年に初めて3万人を下回った。加古川市では、平成23年、24年と60名弱でほぼ横ばい状態であったが、平成25年は69名と増加している。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
加古川市内に在住している市民	●ゲートキーパー養成研修を開催する●自殺予防に関する健康教育を実施する				自殺者数の減少を目指す	
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
加古川市人口(10/1付推計人口)		人		272,026	271,689	
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
ゲートキーパー養成研修参加人数		人		1,530	424	
自殺予防に関する健康教育参加人数		人		1,924	1,240	
活動指標分析結果	●ゲートキーパー養成研修については、毎年度対象者を変更して実施している。●健康教育実施人数は横ばい状態である。					
事業費		千円		1,299	1,536	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
自殺率(人口10万人対)		人		21.2	25.4	15 平成34年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	自殺率は、平成23年、平成24年と21.2とほぼ横ばいであったが、平成25年は25.4と増加している。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 全国的にみても自殺による死亡者が減少しており、今後も引き続き事業を継続する必要がある
--

※事業費と財源内訳

決算額	1,536	内訳	国費	県費	1,536	市債	他	一般
-----	-------	----	----	----	-------	----	---	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	予防接種事業		
部局名	福祉部	課(室)名	育児支援課

【基本情報】

基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02健康づくりや地域医療を充実する	款	04衛生費
施策	01健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	01保健衛生費
期間	昭和23年度～永年	目	02予防費
事業区分	④義務的施策事業	細目	010予防接種事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	予防接種法		

【現状と課題】

現状と課題	国では、平成24年5月に厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会において、みずぼうそうとおたふくかぜを含む7ワクチンについて、広く接種を促進していくことが望ましいとの第二次提言が取りまとめられた。なお、みずぼうそうは平成26年10月から定期接種となる予定である。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)	
市内に住所を有する生後2か月から20歳未満の者	予防接種法に基づき、A類疾病の定期接種を実施する。	ワクチンを接種することにより、疾病の発生と感染症のまん延を防止することができる。	
対象指標		単位	平成23年度 平成24年度 平成25年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外			
活動指標		単位	平成23年度 平成24年度 平成25年度 目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外			
事業費		千円	341,694 464,921
成果指標		単位	平成23年度 平成24年度 平成25年度 目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外			

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
予防接種法において、市長はA類疾病の予防接種を実施しなければならないとされている。今後も、乳幼児等の疾病の発生と感染症のまん延を防止するため引き続き実施する必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	464,921	内訳	国費	県費	市債	他	一般	464,921
-----	---------	----	----	----	----	---	----	---------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	子育て支援予防接種助成事業		
部局名	福祉部	課(室)名	育児支援課

【基本情報】

基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02健康づくりや地域医療を充実する	款	04衛生費
施策	01健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	01保健衛生費
期間	平成18年度～永年	目	02予防費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	025子育て支援予防接種助成事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市子育て支援予防接種助成事業実施要綱		

【現状と課題】

現状と課題	国では、平成24年5月に厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会において、みずぼうそうとおたふくかぜを含む7ワクチンについて、広く接種を促進していくことが望ましいとの第二次提言が取りまとめられた。なお、みずぼうそうは平成26年10月より定期接種となる予定である。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市内に住所を有する1歳から4歳未満の者	みずぼうそう、おたふくかぜ及び季節性インフルエンザの任意の予防接種について、いずれか一つの予防接種の接種費用を2千円助成する(定期の予防接種券と併せて助成券を送付)。	子育て家庭の経済的負担を軽減することで、ワクチン接種を促進し、疾病の発生と集団感染を予防する。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
対象者数(加古川市任意予防接種)	人	2,589	2,436	2,538		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
接種者数(加古川市任意予防接種)	人	1,374	1,722	1,945		

活動指標分析結果	接種者数はここ数年落ちていたが、助成券送付時の案内文を工夫したこと等により、接種者数が増加したと考えられる。			
事業費	千円	2,748	3,444	3,890

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
接種率(加古川市任意予防接種)	%		68	70	80	平成27年度
		上段:計画値/下段:実績値	53.1	70.7	76.6	
		上段:計画値/下段:実績値				
		上段:計画値/下段:実績値				

成果指標分析結果	前年度と比較すると接種率はかなり高くなったが、事業の成果を向上させるためには、さらに接種率を上げる必要がある。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
接種率が前年度と比較し5.9ポイント上昇しており、費用の一部を助成することによって、乳幼児の疾病の発生と感染症のまん延防止に寄与しているものと思われる。よって、今後も事業の継続は必要であるが、水痘の定期接種化など国の動向を見極めながら見直しを行う必要がある。	

※事業費と財源内訳

決算額	3,890	内訳	国費	県費	市債	他	一般	3,890
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	学校保健事業に要する一般的経費		
部局名	教育総務部	課(室)名	学務課

【基本情報】

基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02健康づくりや地域医療を充実する	款	10教育費
施策	01健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	08保健体育費
期間	～ 永年	目	01保健体育総務費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005学校保健事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	学校保健安全法		

【現状と課題】

現状と課題	アレルギー疾患のある児童生徒等への対応や、新たな感染症の発生に向けての対策など、課題の多様化が進んでいる。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
加古川市立小・中学校、幼稚園、特別支援学校に在籍する児童生徒等	学校環境衛生の保全を図るため、学校園内の環境測定や、学校保健に必要な物品の購入等を行う	学校環境衛生の保全を図ることにより、児童生徒等の健康を保持増進する				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円	37,489	35,806	34,481		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
児童生徒等の健康の保持増進を図るために、学校環境衛生の保全に努めた。

※事業費と財源内訳

決算額	34,481	内訳	国費	県費	市債	他	9,685	一般	24,796
-----	--------	----	----	----	----	---	-------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	結核検診事業		
部局名	教育総務部	課(室)名	学務課

【基本情報】

基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02健康づくりや地域医療を充実する	款	10教育費
施策	01健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	08保健体育費
期間	平成15年度～永年	目	01保健体育総務費
事業区分	④義務的施策事業	細目	005学校保健事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	学校保健安全法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		

【現状と課題】

現状と課題	学校現場における結核感染者が少ないこと等を踏まえ、平成24年3月に文部科学省が新たに結核対策マニュアルを策定したことに伴い、結核健診の方法等について見直しを行った。市内では海外の高まんな延国から帰国する児童生徒が年間10～15人程度いる。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川市立小・中学校、特別支援学校に在籍する児童生徒等	学校保健安全法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、文部科学省の指針(マニュアル)に基づき、結核健診(内科健診、精密検査)を実施する。実施に際しては、保健所長や医師等専門家の助言を得ながら行う	学校における結核感染者の早期発見・早期治療				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円	951	381	261		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
学校保健安全法、感染症法により実施が市に義務付けられている事業であり、保健所長、医師等専門家から助言を受けながら適正に実施している。

※事業費と財源内訳

決算額	261	内訳	国費	県費	市債	他	一般	261
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	学校健康診断事業		
部局名	教育総務部	課(室)名	学務課

【基本情報】

基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02健康づくりや地域医療を充実する	款	10教育費
施策	01健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	08保健体育費
期間	昭和33年度～永年	目	01保健体育総務費
事業区分	④義務的施策事業	細目	005学校保健事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	学校保健安全法		

【現状と課題】

現状と課題	学校保健安全法の規定に基づき、園児・児童・生徒の各種健康診断を適正に実施している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川市立小・中学校、幼稚園、特別支援学校に在籍する児童生徒等(学校健康診断)及び就学前1年の幼児(就学時健診)	学校保健安全法の規定に基づき、児童生徒等の心臓・腎臓・脊柱側弯・眼・歯・耳鼻咽喉といった各種健康診断を実施する。また、小学校就学前年の幼児を対象に、就学時健康診断を実施する	学校園における児童生徒等の健康保持増進を図る				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円	42,195	41,280	41,536		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
学校保健安全法により実施が市に義務付けられている事業であり、健康診断受診対象者に適正に実施している。

※事業費と財源内訳

決算額	41,536	内訳	国費	県費	市債	他	一般	41,536
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	学校園医等配置事業		
部局名	教育総務部	課(室)名	学務課

【基本情報】

基本目標	0 1 安心して暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 健康づくりや地域医療を充実する	款	1 0 教育費
施策	0 1 健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	0 8 保健体育費
期間	～ 永年	目	0 1 保健体育総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	0 0 5 学校保健事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	学校保健安全法、加古川市立学校学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の設置等に関する要綱		

【現状と課題】

現状と課題	新型インフルエンザ等感染症発生時の対応や、アレルギー疾患のある児童生徒等の増加など、学校医等に相談すべき課題が多様化している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川市立小・中学校、幼稚園、特別支援学校に在籍する児童生徒等	学校保健安全法の規定に基づき、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を委嘱し配置する	児童生徒等の健康の保持増進及び学校環境衛生の保全を図る				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
市立学校園に在籍する園児児童生徒数	人		24,726	25,081		
市立学校園数	校		61	61		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
学校園医等配置数	人		311	311		
学校園医等配置校数	校		61	61		
活動指標分析結果	学校保健安全法で学校医を置くことと規定されており、市内全学校園に配置されていることを判断できる適切な指標と考える。					
事業費	千円	95,994	95,392	95,043		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
学校園医等配置校数	校		61	61	61	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			61	61		
学校園医等配置率	%		100	100	100	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			100	100		
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	学校保健安全法で学校医を置くことと規定されており、市内全学校園に配置されていることを判断できる適切な指標と考える。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
学校保健安全法に基づく学校医を適切に配置しており、健康の保持増進及び学校環境衛生の保全を図ることができている。

※事業費と財源内訳

決算額	95,043	内訳	国費	県費	市債	他	一般	95,043
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	学校安全衛生事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	学校教育課

【基本情報】

基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02健康づくりや地域医療を充実する	款	10教育費
施策	01健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	08保健体育費
期間	～ 永年	目	01保健体育総務費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	020教職員健康診断事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	労働安全衛生法、労働安全衛生法施行令、教職員安全衛生管理規則、加古川市学校教職員安全衛生管理規定		

【現状と課題】

現状と課題	教職員の超過勤務の縮減は横ばい状態であるが、職場環境においては改善が進められている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川市立の小学校、中学校、養護学校に常時勤務する教職員	産業医の学校訪問による職場環境改善指導を実施し、学校統括安全衛生委員会を開催する。	加古川市学校教職員安全衛生管理規定に基づき、学校統括安全衛生委員会を組織し、教職員の安全及び健康の保持増進並びに快適な職場環境の形成を推進する。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		682	797		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
産業医の学校訪問による職場環境改善指導により、教職員への健康指導や職場環境の改善が推進されている。

※事業費と財源内訳

決算額	797	内訳	国費	県費	市債	他	一般	797
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	教職員健康相談事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	学校教育課

【基本情報】

基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02健康づくりや地域医療を充実する	款	10教育費
施策	01健康管理を充実し、病気の予防を図る	項	08保健体育費
期間	～ 永年	目	01保健体育総務費
事業区分	④義務的施策事業	細目	020教職員健康診断事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	労働安全衛生法、労働安全衛生規則、加古川市学校教職員安全衛生管理規程		

【現状と課題】

現状と課題	健康診断の受診率は低下しているものの、人間ドックの受診者とあわせるとほとんどの教職員が受診している。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川市立の小学校、中学校、特別支援学校に常時勤務する教職員	健康相談医への健康相談を実施し、健康診断、B型肝炎感染予防、腰痛検診、結核検診事業を実施する。	教職員の健康の保持、増進を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		10,641	12,117		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
健康相談医による健康相談、健康診断等により教職員の健康の保持、増進が図られている。

※事業費と財源内訳

決算額	12,117	内訳	国費	県費	市債	他	一般	12,117
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------